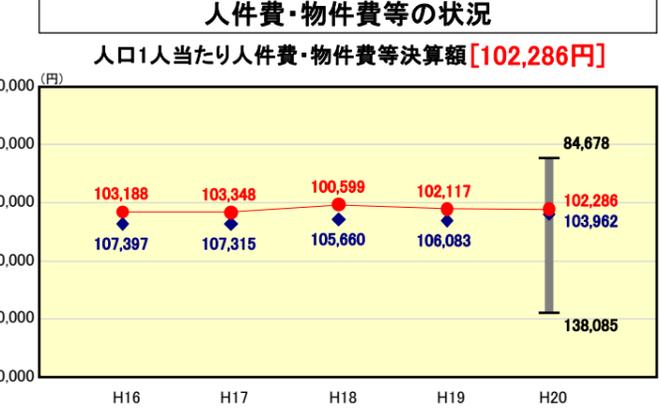
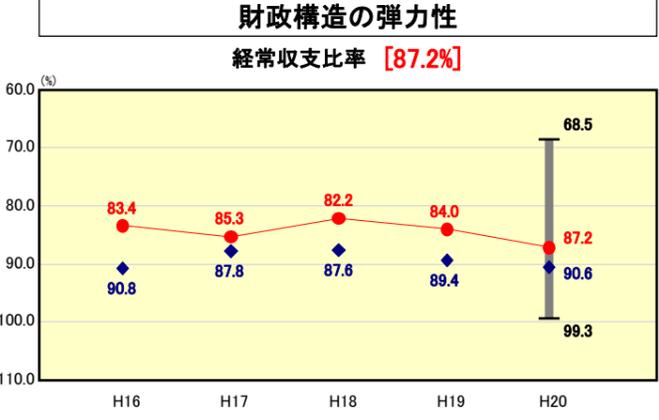
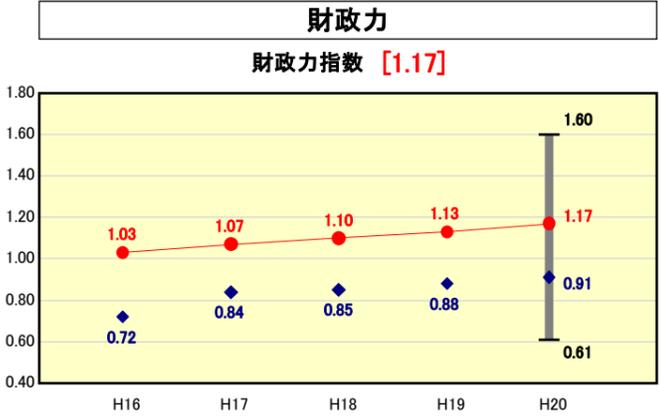


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

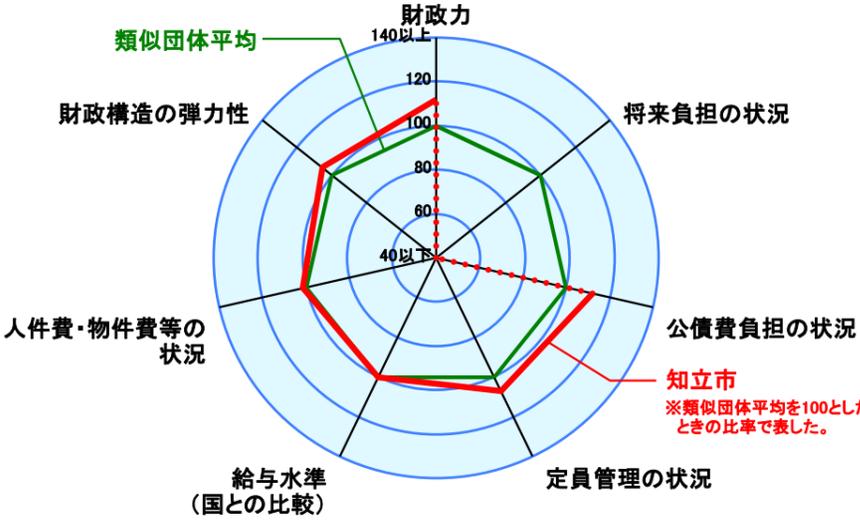


※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

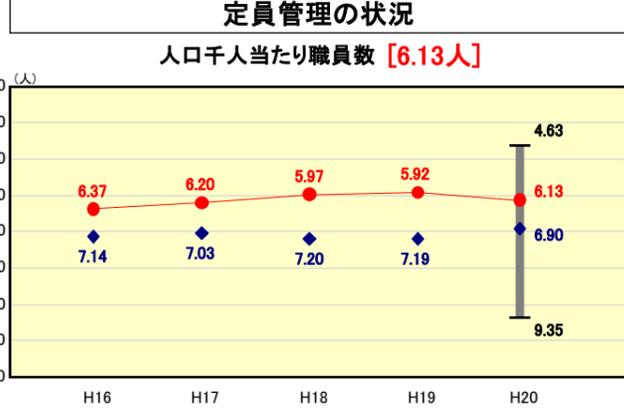
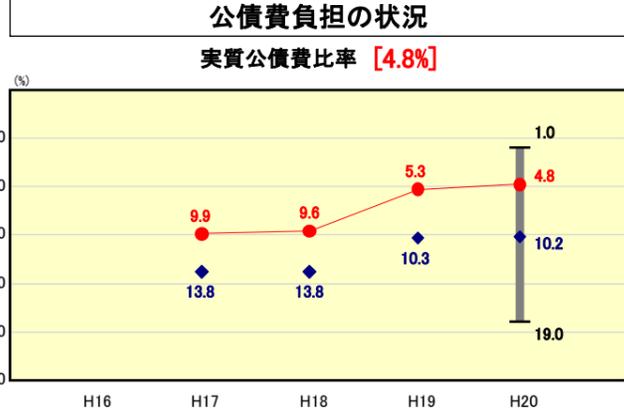
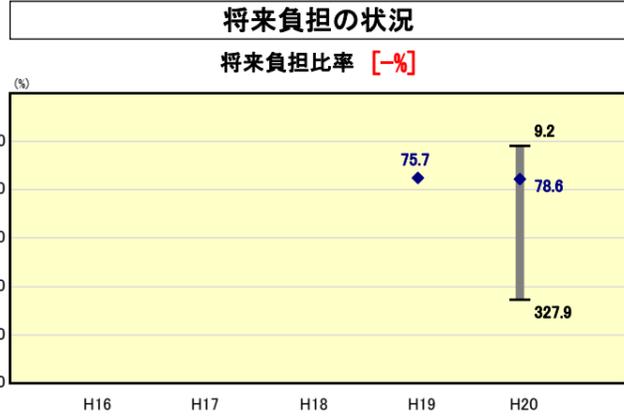
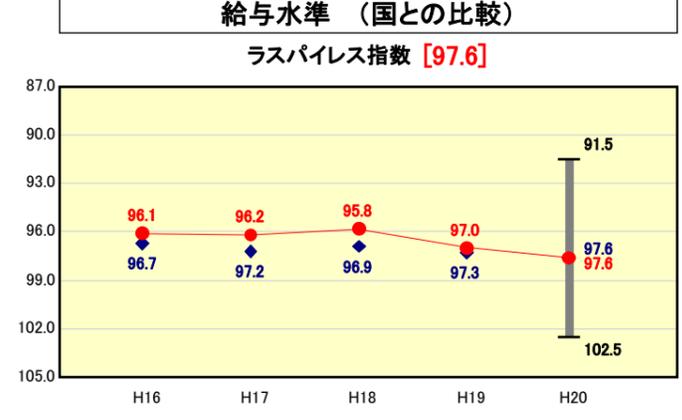
分析欄

- ・**財政力指数**:自動車関連産業の堅調な業績を反映し、税収は平成15年度を底に上昇に転じてきたが、急激な経済状況の悪化により、法人市民税を中心として、今後は大幅な減収が見込まれる。今後、事業の見直しを行うとともに、安定した税収を確保するため区画整理事業などの有効な土地利用を促進するような施策を推進する必要がある。
- ・**経常収支比率**:知立連続立体交差事業・知立駅周辺土地区画整理事業などの大型事業が本格化することによる将来の公債費の増加を見越すと80%前後まで引き下げる必要がある。集中改革プラン及び第三次行政改革大綱では、歳入は税の収納率向上、歳出は職員数の削減、補助金の見直し、民間委託等の推進により経常経費の削減に努め、経常収支比率の抑制に取り組む。
- ・**実質公債費比率**:近年の公債費償還額は15億円前後と比較的一定水準で推移してきた。しかし、知立連続立体交差事業・知立駅周辺土地区画整理事業の本格化、臨時財政対策債の発行や、一部事務組合で実施しているごみ処理施設の更新などに伴う公債費負担の上昇が見込まれるため、新規発行の抑制や適償性を見極めバランスを調整していく。

| | | |
|--------|------------|-----------------|
| 人口 | 65,215 | 人(H21.3.31現在) |
| 面積 | 16.34 | km ² |
| 標準財政規模 | 13,108,295 | 千円 |
| 歳入総額 | 20,739,803 | 千円 |
| 歳出総額 | 19,349,329 | 千円 |
| 実質収支 | 760,935 | 千円 |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



類似団体内順位
-/
全国市町村平均
100.9
愛知県市町村平均
88.2

類似団体内順位
5/43
全国市町村平均
11.8
愛知県市町村平均
8.6

類似団体内順位
12/43
全国市町村平均
7.46
愛知県市町村平均
7.10